

## 講義レジュメ

講 師 小 川 義 和

内容・テーマ

地域で学芸員としての専門性を生かす

期 日 平成 29 年 12 月 14 日

### 1. 学芸員の専門性とは

学芸員に求められる資質・能力（新しい時代の博物館制度の在り方について，2007）

- 資料及びその専門分野に必要な知識及び研究能力を有すること。
- 資料に関する収集・保管・展示等の実践技術を有すること。
- 資料等を介して、あるいは来館者との直接的な対話等において高いコミュニケーション能力を有し、地域課題の解決に寄与する教育活動等を展開できること。
- 住民ニーズの的確な把握と住民参画の促進、これに応える事業等の企画・立案から評価、改善まで、一連の博物館活動を運営管理できる能力を備えていること。

### 2. 地域の資源と人々をつなぐ専門性

- 「知の循環型社会」の実現に向けた「地域課題解決学習」の展開。
- 学びのオーガナイザー
- 人材育成の場としての博物館
- 地域の資源を活用し、人々をつなぐ役割が重要。
- 公民館、美術館の事例～平塚中央公民館

### 3. サイエンスコミュニケーションを事例に

- 自然科学系の場合は比較的課題が明確。
  - サイエンスコミュニケーションには、地域における課題に注目し、その解決の過程を駆動として教育力を向上する生涯学習としての意義がある。
  - サイエンスコミュニケーションの多元性
    - ・ 専門家から一般の人々への普及モデル
    - ・ 専門家と一般の人々間の対話モデル
    - ・ 社会的集団や専門家が対話し、知を共有し、循環し、社会に変革をもたらすモデル
- 「我以外皆我師也」（吉川英治）

#### 4. 地域文化の創造と継承のために

○2060年には日本の人口が8000万人台に減少。

○地域文化の担い手として博物館の文化的価値を高める。

○博物館は、人々の知を共有し、文化を創造し、発信し、継承するプラットフォーム（知産知承モデル）として

○各地域で「学芸員の専門性」を生かして何を実現するのか、何をを目指すのか。

- ・ 学術的分野に関する知識・研究能力
- ・ 表現力・技術力・つなぐ力

---

#### 〔参考文献〕

- ・ これからの博物館の在り方に関する検討協力者会議：新しい時代の博物館制度の在り方について（報告），2007 [http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chousa/shougai/014/toushin/07061901.pdf](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shougai/014/toushin/07061901.pdf)  
（アクセス日 2017/11/08）
- ・ 学びを通じた地域づくりの推進に関する有識者会議：人々の暮らしと社会の発展に貢献する持続可能な社会教育システムの構築に向けて 論点整理，2017  
[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chousa/shougai/035/gaiyou/1384046.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shougai/035/gaiyou/1384046.htm)  
（アクセス日 2017/11/08）
- ・ 独立行政法人国立科学博物館編：科学を伝え、社会とつなぐ サイエンスコミュニケーションのはじめかた，丸善出版，2017